



羅針盤 R元年度-No.5

体験を言語化することで生きて働く経験へ！

学校は失敗するところ！ 授業は間違えるところ！ 恐れずチャレンジ!!

One for all. All for one.

令和元年 6月17日(月)

昭島市立拝島第二小学校

校長 小瀬 和彦

拝二小学級カスタンドの適正な実施

- ※ 遅くとも6月中に拝二小学級カスタンドを適正に実施「1～5」してください。
- 1 児童一人一人が自らの学級を10項目から自己評価をする。(1・2年、3～6年生用)「アンケートに記入する。」〈5月・7月・12月・2月の4回実施PDCAサイクル化〉
 - 2 評価結果を集計表に付加し、グラフに反映させ、教室内に掲示する。
(いつでも、児童が見られるようにする。意識化を図る。)
 - 3 グラフを基に児童一人一人が学級のよさや課題を把握する。
 - 4 学級で、グラフを基に、よさをさらに伸ばすため・課題を解決するための改善策について話し合う。
 - 5 児童一人ひとりが協力して、改善策を学級で実施する。

日光移動教室での体験を言語化することで生きて働く経験へ

6年1組 花田実践より 思い出の一ページ 信じ合える仲間

- ◇ 私は日光で「人から信頼されるには、信頼されるに値する行為をする必要があること。苦しい時こそ自分から率先して動く。」ということが分かりました。
切込湖・刈込湖でのハイキングのことです。私の班は人によって体力差がとてもあります。…〈略〉…足取りが重くなったとき、前方にいた仲間が、バテそうな友達の荷物をもってあげていました。このような小さな心遣いも、バテそうな友達にとって、大きなパワーになったと思います…〈略〉…
そしてもう一つは、自分が苦しい時は、みんなも苦しいと思います。そのみんなが苦しい時に、自分から率先して動くことができる人は、きっと最後までやり遂げてくれる、と周りの友達は思って、その人についていくと思います…〈略〉…
- ◇ …〈略〉…私は切込湖・刈込湖のハイキングで「もう疲れて歩きたくない！」と思うことが何度もありました。泣きそうになることもありました。でもそんな時、私の班の人は荷物を持ってくれたり、一緒にタイミングを合わせて歩いてくれたりしました。
…〈略〉…私はみんなに助けってもらったので、これからもがんばりたいと思います。
- ◇ 私はこの日光を通して、今回の目標をクリアできたと思います。切込湖・刈込湖で辛い時、班の皆がたくさん声をかけてくれたので、元気が出てきました。…〈略〉…ケンカもしましたが、協力もできました。…〈略〉…日光では楽しむことだけでなく、「自分から手を伸ばして一歩前に進む」、それが大事なことだと思いました。